

はじめに

2001年11月に発売したシルバーウイング<400>は、シルバーウイング<600>のエンジンと車体をベースに開発。パワーユニットには、静粛性に優れ力強さを発揮する水冷4ストロークDOHC2気筒400ccエンジンに電子制御燃料噴射装置(PGM-FI[※])を搭載。車体は600ccとの共通化により快適性に優れ存在感のあるスタイリングをまとい、普通二輪免許で乗ることができる大型スクーターとして登場しました。シルバーウイングは、日常生活の利便性を高める移動手段として、また、長距離ツーリングにおいてもライダーはもちろんパセンジャーの快適性をも併せ持つ「二人のための上質な時間」を演出できるスクーターを目指しました。

そして今回シルバーウイング<400>は、開発コンセプトに「Luxury GT 2 Seater (ラグジュアリーGT 2 シーター)」を掲げ、ネーミングも新たにシルバーウイングGT<400>として誕生しました。「Gran Turismo (グランツーリスモ)」を意味するGTをネーミングに取り入れたこのモデルは、力強い高速走行性能を実現するエンジン、快適性を徹底的に追求した車体設計とするとともに、充実した装備と高級感溢れる上質なスタイリングへと進化を遂げました。また環境面では、従来からのPGM-FIに加え、O₂センサーを搭載するとともに、高効率なデュアルコアキャタライザーを装備することで、平成19年国内二輪車排出ガス規制をクリアし、また燃費を向上させるなど環境性能を高めています。

GTの名にふさわしいトータルパフォーマンスとダイナミック且つスポーティーなスタイリングを実現したシルバーウイングGT<400>は、趣味を大切にする大人たちにロングツーリングで走る楽しさと快適な時間を演出する大型スクーターです。

※PGM-FI(Programmed Fuel Injection)は、Hondaの登録商標です。

